

オピニオン

手術手技と診療材料

白石区支部 中尾康夫

札幌市医師会の医政委員も二期目になった。通常は手術室に勤務している関係から手術室での問題が目に付く。

最先端医療を目指す病院では、最新の医療材料を使用して手術を施行する。最新の医療材料は、海外で開発されたものが多く、代理店を介して輸入されている。そのために特定保健医療材料に指定され海外価格のより高い価格が設定されている。医療機器価格の内外格差は以前から問題とされ、厚労省でも是正する方向にはある。しかしながら、その臨床での使用許可権は厚労省が握っており、許認可に基づく利権が存在している。実際のところ、手術技術料より高い医療材料費がある。たとえば、整形外科の人工関節置換術、整形外科医の技術料よりインプラント価格のほうがはるかに高いという現実がある。人工関節置換術は患者さんのQOLを改善させることが明らかな確立された術式の一つではあるが、手術室内から見ると、問題がないわけではない。実際問題として、手術時の業者の立会いの問題がある。手術術式が個々のインプラントによって異なり、使用する器具もそれぞれ異なることから、取り扱い業者が手術に立ち会う場面が多い。取り扱い業者が売りたいがために手術室まで出入りするようになる。個々のインプラントに特徴があって医師側では十分に理解してはいるが確認のために業者が毎回同席して手術を行う状況がある。業者が出入りすることはそれだけの費用つまり材料費の中に人件費が含まれている証拠で、国民医療費の適正使用に問題があるのではと考えざるを得ない。業者が手術室内に出入りする事の問題点は、手術術式の決定方法に関してである。本来は担当医が全責任をもって術式を決定するのが

筋であるが、関東地域で泌尿器科領域での内視鏡手術では、経験の少ない医師に手術室に同席した器械販売業者が指示しながら手術を行い不幸な結果を得た事例が報道されている。そのほかの医療材料でも、手術技術料に比べ材料費の高いものが少なくない。たとえば心臓ペースメーカー、以前は機種毎に価格が設定されていたが、現在は大まかな分類で価格を設定されている。血管内手術も手術侵襲が小さいためかなり盛んに施行されるようになってきたが、手技料よりも手術材料費が掛かる医療の代表である。カテーテル類の種類が多いため価格も高価である。これらの医療機器は医療を行ってゆく上で必要ではある。しかし、その価格から見ると使用をすれば診療報酬点数は高くなるが、その大半は医療機器販売会社等の企業の売り上げ利益として計上されることとなる。結局のところ総医療費は増加してもその増加分は企業の利益となり医療者側に残らない。医療器械会社を儲けさせるために医療を行っているのではとの錯覚に陥ることもある。

特定機能病院での医療費は包括化が進んできている。入院医療費は、診断群分類されそれに応じた患者一人当たりの包括評価を原則とした支払方法で支払われる。特定機能病院から、国立病院等での試行、そして民間病院を含めた試行が行われ、種々のデータが集められている。総医療費を抑制する手段として一般病院へも今後導入されてゆく可能性が強い。包括評価部分では、入院基本料・検査・画像診断・注射・投薬等が包括評価され診断群分類ごとの一日あたりの点数に入院日数を掛け医療機関別係数を掛けた点数となる。手術麻酔・放射線治療・内視鏡検査等は従来どおり出来高払いのまま支払わ

れている。手術室内に限定すると、手術技術料、麻酔技術料等は必要に応じて出来高払いが、まだ認められているが、今後手術料を含めて包括化されていく可能性が無い訳ではない。手術に使用される特定保健医療材料価格に国内外の格差がなくなれば、それらの材料費を含めた費用で医療費を包括化した手術点数の請求になる可能性もある。現在のような、高価な医療

材料を使用しただけ保険請求できる出来高払いはいつまで続けていられるのだろうか？医療費の包括化は今後も進んでゆくと考えられる。湯水のように医療費を使えた時代は終了したと考えられる。今後は、必要なところに必要な無駄のない医療を行う必要があるように思われる。

(札幌北楡病院)

札幌の動き

…10月…

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 2日・南区支部自主指導 | ・第14回総務部担当理事会 |
| ・中央区西支部自主指導 | 21日・第6回医政委員会 |
| ・札幌連委員長・副委員長会議 | ・介護認定審査会委員との懇談 |
| 3日・医療保険に関する研修会 | 22日・第16回理事会 |
| 6日・第2回世代交代懇話会 | ・第4回救急医療部担当理事会 |
| ・第7回支部連絡調整会議 | 23日・中央区東支部役員会 |
| ・第2回表彰選考委員会 | ・中央区西支部役員会 |
| ・第13回総務部担当理事会 | ・東区支部役員会 |
| 7日・第3回在宅療養支援委員会 | ・豊平区支部役員会 |
| 8日・第7回財務部担当理事会 | ・清田区支部役員会 |
| ・第7回医事紛争処理委員会 | 24日・北区支部役員会・臨時総会 |
| 9日・第3回札幌連執行委員会・常任執行委員会合同委員会 | ・白石区支部役員会・臨時総会 |
| 10日・第15回理事会 | ・厚別区支部役員会・臨時総会 |
| ・第4回政策部担当理事会 | ・南区支部役員会 |
| 14日・西区支部自主指導 | ・西区支部役員会 |
| ・顧問公認会計士監査 | ・手稲区支部役員会 |
| 15日・第7回支部長会 | 25日・第169回家庭医学講座 |
| ・第9回三役会 | 27日・第10回三役会 |
| ・札幌連打合せ | ・札幌連打合せ |
| ・顧問公認会計士監査 | 28日・保険医療にかかわる学術講演とレセプト検討会 |
| 20日・衆議院議員立候補者推薦状渡し | 29日・新会員との懇談会 |
| | 30日・第7回医療保険指導委員会 |
| | 31日・札幌市との打合せ |